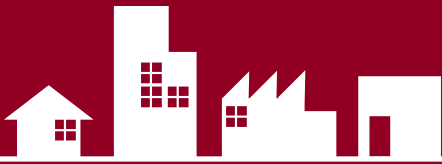


ぶぎんのあるまさは



シリーズ第8回 小川町 - 下 -

11月27日は「和紙の日」 小川町・東秩父村

ユネスコ登録

小川町と東秩父村に伝承され渡り続けてきた小川和紙の代表「細川紙」。その手漉き和紙をつくる伝統の技術が、2014年11月27日にユネスコ無形文化遺産に登録されました。埼玉県における初のユネスコ登録です。この登録を受け、小川町と東秩父村は11月27日を「和紙の日」に制定しました。この日前後には、和紙の文化や産業を広く発信するイベントが開かれます。



和紙フェス 2017 in 東秩父村

11月25日(土)・26日(日)

比企広域消防音楽隊、書道パフォーマンス (滑川総合高校書道部)、鬼太鼓座、和紙ランタンナイト&村バルなどイベント盛りだくさん

〈会場〉道の駅 和紙の里ひがしちちぶ (東秩父村和紙の里)

- 〈アクセス〉
- ・東武東上線 小川町駅からイーグルバスで約25分
 - ・東武東上線・JR八高線 寄居駅からイーグルバスで約20分
 - ・関越自動車道 嵐山小川ICから約20分
花園ICから約25分

東秩父村和紙の里

東秩父村和紙の里は「道の駅 和紙の里ひがしちちぶ」として、平成28年にリニューアル・オープンしました。休憩スポットとしてだけでなく、手漉き和紙体験、そば・うどん打ち体験や、和紙製品などの特産品や農産物の買い物を楽しむことができます。まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような茅葺屋根の紙漉き家屋がある日本庭園の中庭など、訪れた方がゆっくりとくつろげる空間となっています。



道の駅 和紙の里ひがしちちぶ祝1周年感謝祭

11/ 3(金)4(土)5(日) 9:00 ~ 15:00

地元産農産物特売・お楽しみ抽選会など

- | | |
|-------------|----------------------|
| ①和紙製造所 | ⑦フードコート |
| ②御食事処「すきふね」 | ⑧JA埼玉中央
東秩父農産物直売所 |
| ③研修会館 | ⑨特産品直売所 |
| ④ギャラリー・茶室 | ⑩トータルサポートセンター |
| ⑤細川紙 紙すき家屋 | ⑪そば打ち体験工房 |
| ⑥ふるさと文化伝習館 | |

埼玉県のはば中央にある小川町と西側に隣接する東秩父村は、外秩父の山なみきのぞむ盆地の町です。町の中央を流れる槻川の豊かな水が紙すきを育てました。この紙すきの技術を伝えたのは、およそ1300年前に武蔵国に移り住んだ高麗人といわれ、正倉院文書にも小川の和紙が納められたという記録が残されています。江戸時代には、江戸から最も近い紙の一大産地として、1000戸近くの紙漉き屋が大量の和紙を漉いて需要に応えていました。

細川紙とは

細川紙は小川町と東秩父村で古くから生産されてきた手漉きの楮紙です。細川という名前は当時の高野山麓の細川村（現：和歌山県高野町）で漉かれていたことに由来します。強く厚みと光沢があり、水に強かった細川紙は、商人の大福帳に使われるようになり、江戸の繁栄とともに小川和紙を代表する紙となりました。



埼玉伝統工芸会館

埼玉県指定の伝統的手工芸品20産地30品目がすべて展示されています。館内には「小川和紙」の体験ができる和紙工房があり、様々な種類の紙漉きができます。また、ユネスコ無形文化遺産登録の『細川紙』の実演も行っております。世界に保存すべきと認められた技術が間近にご覧いただけます。



11月27日は「和紙の日」和紙の日制定記念！

小川和紙フェスティバル

11月25日(土)～27日(月)

小川町和紙体験学習センター

1936年に建てられた県立製紙工業試験場をそのまま活かした施設で、昔の診療所のようなレトロな雰囲気懐かしい。本格的な手漉き体験もでき、和紙で作成された多様な展示物を見学することができる施設となっています。



仙元山見晴らしの丘公園

仙元山の中腹にある自然を生かした公園で、四季折々の豊かな表情を見せてくれます。小川町を眼下に眺めながら爽快に滑り降りる、全長203メートルのローラーすべり台（有料）は大人気で、子どもから大人まで楽しめます。

展望台からの景色も素晴らしく、晴れた日には近隣の町はもちろん、遠く北関東の山々まで見渡せます。



第25回記念

小川和紙 マラソン大会

12月10日(日)

会場 埼玉伝統工芸会館

川内優輝選手(埼玉県庁所属)が
ハーフマラソンの部を走ります